症例2

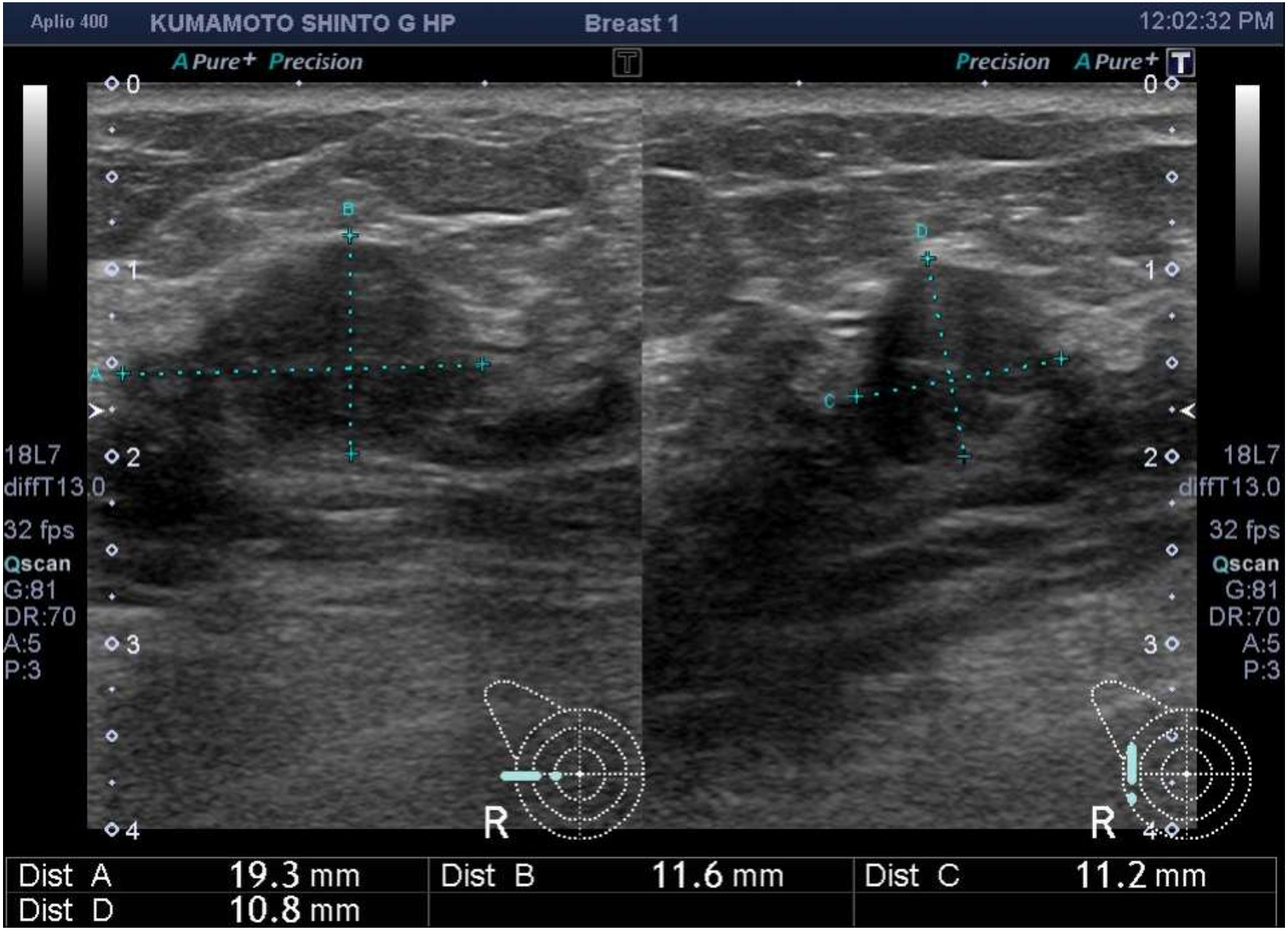
患　者:70歳代　女性

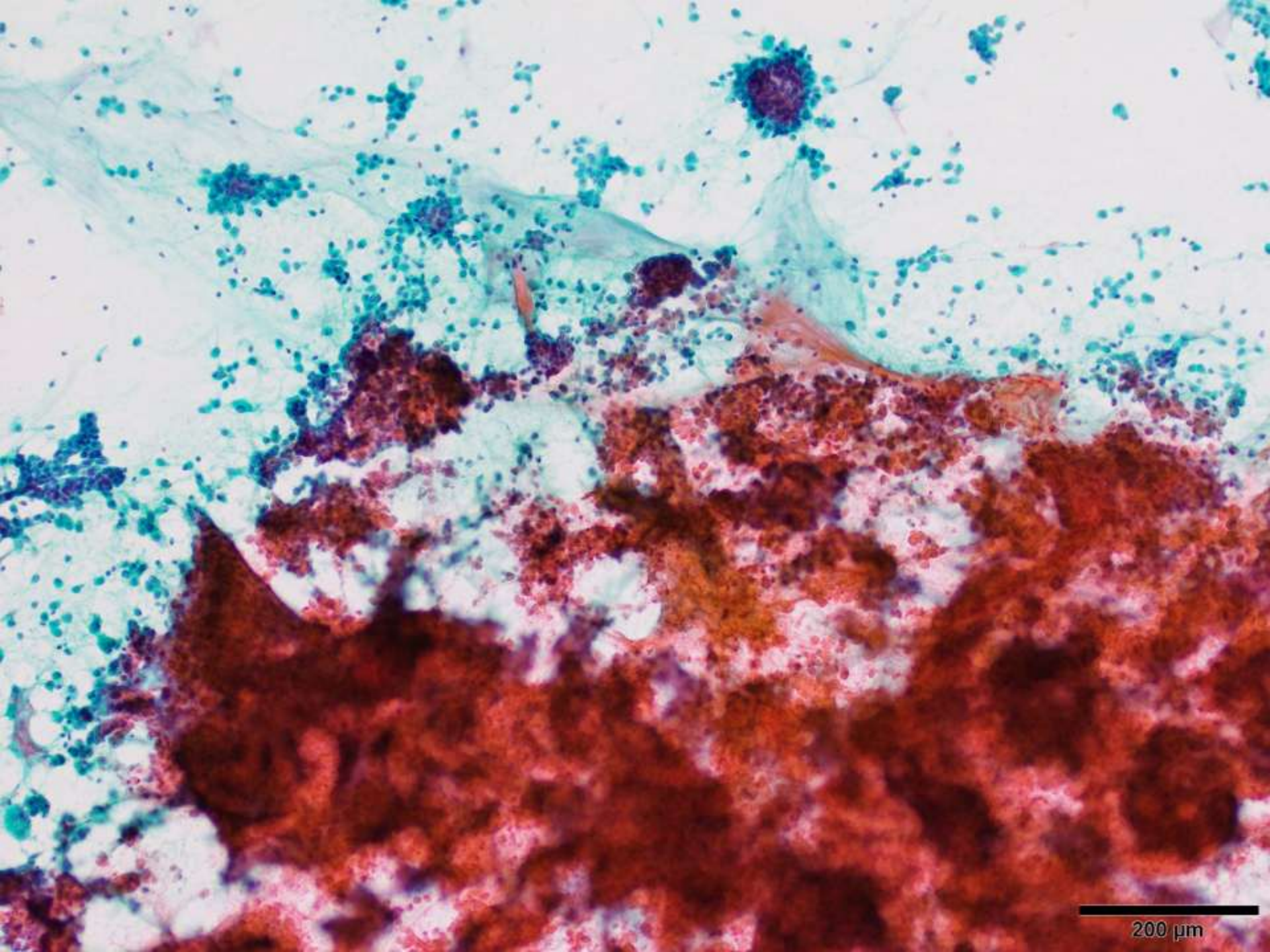
現病歴:両側乳房のしこりと左乳房痛を主訴に、当院を受診。乳腺エコーにて右CD領域に約20×10mm大の境界不明瞭、多角・不整形な等エコーを認めた。乳癌が疑われ、乳腺穿刺吸引細胞診が施行された。

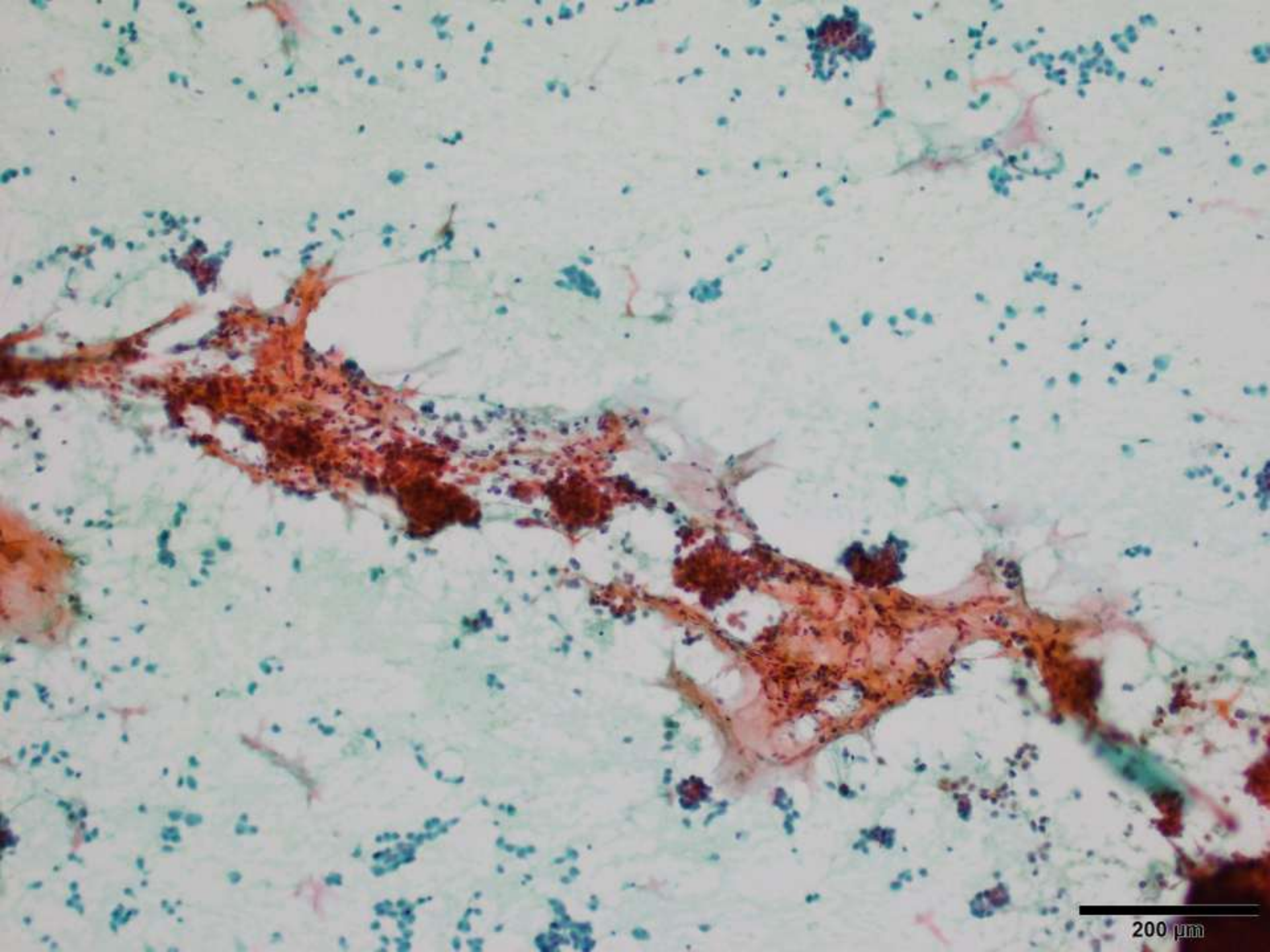
検　体:　右乳腺穿刺吸引

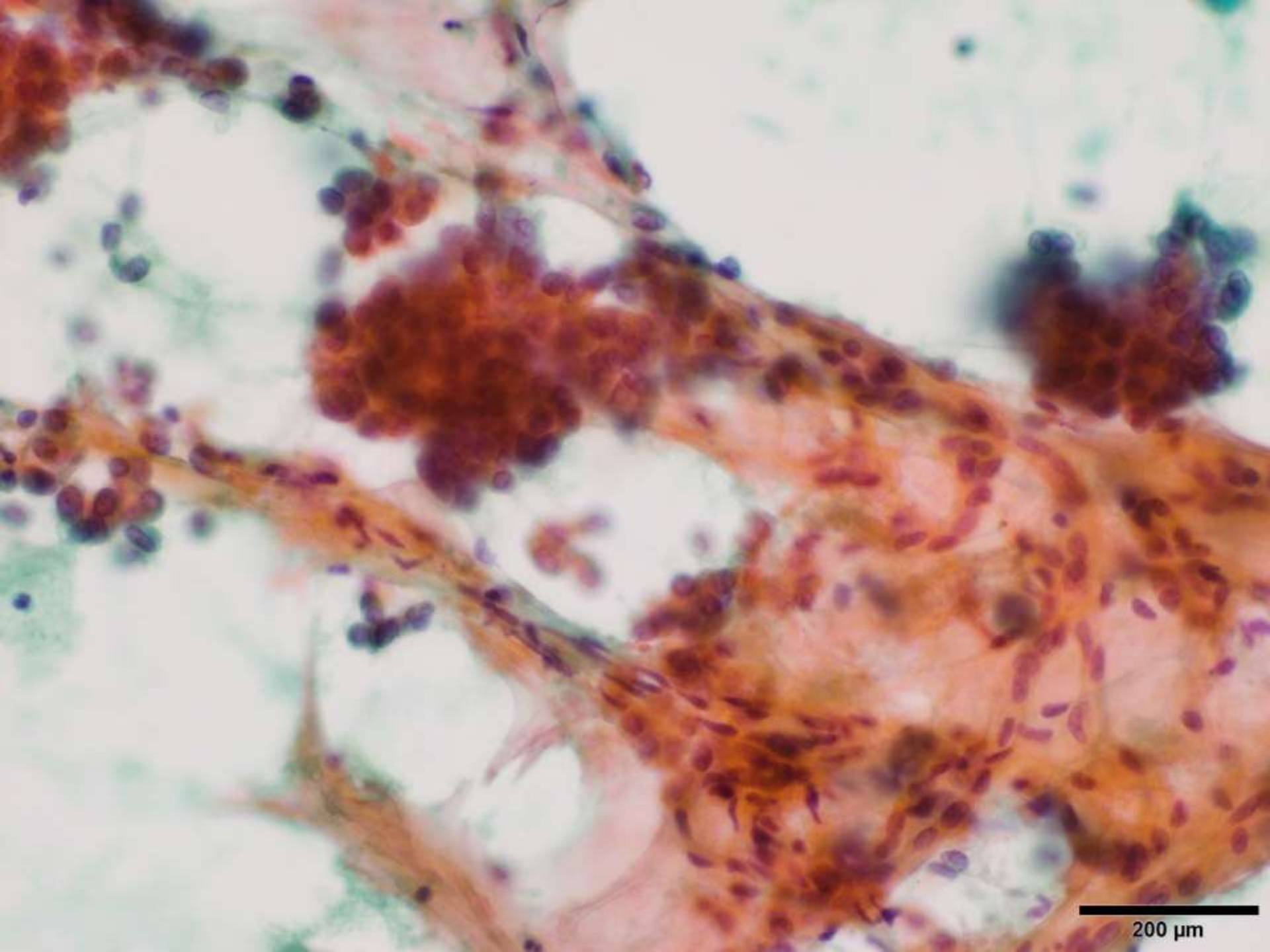
医療法人 創起会
くまもと森都総合病院

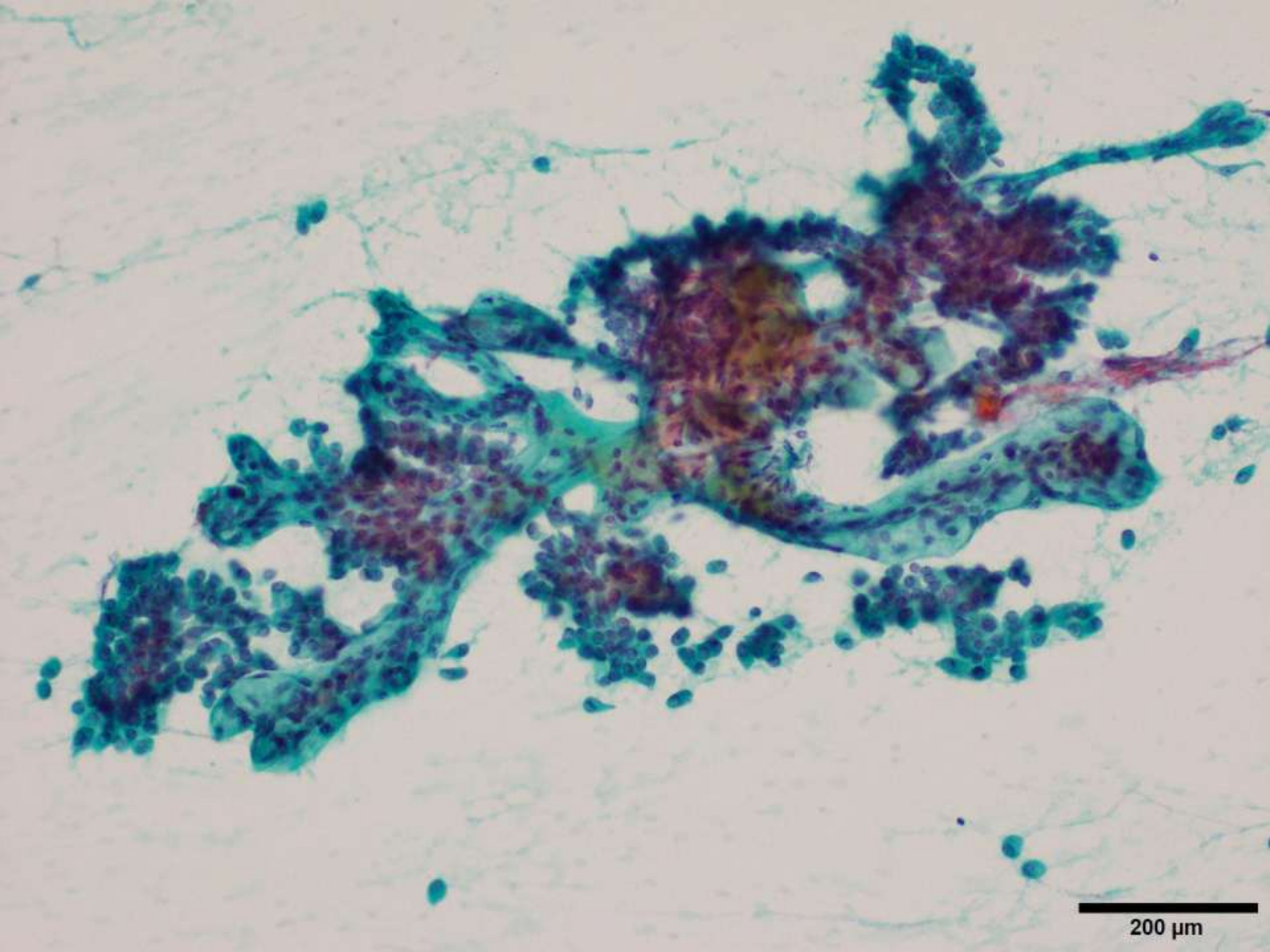
超音波像

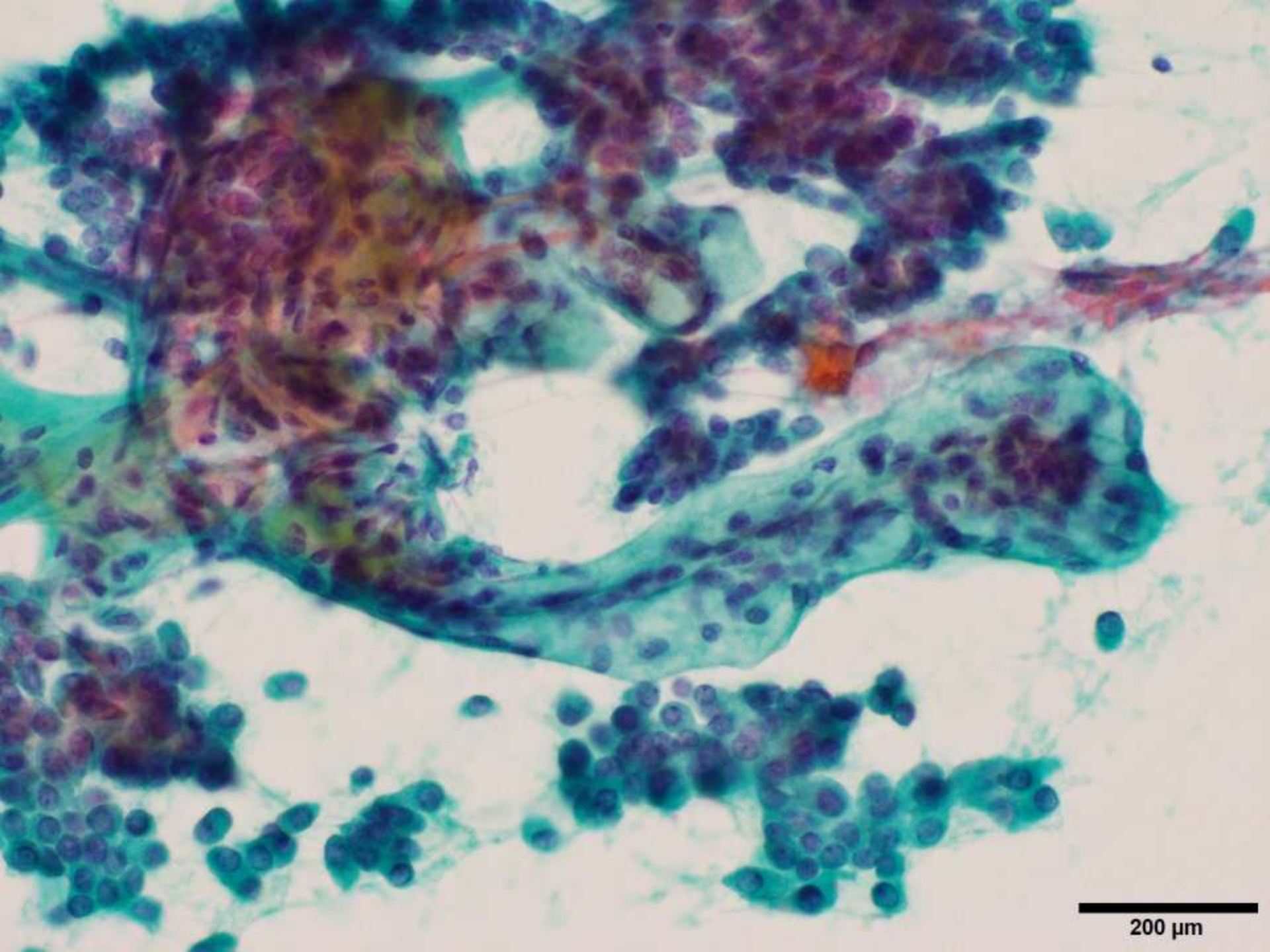

Aplio 400
KUMAMOTO SHINTO G HP
Breast 1
12:02:32 PM
A Pure+ Precision
Precision A Pure+
18L7
diffT13.0
32 fps
Qscan
G:81
DR:70
A:5
P:3
R
R
Dist A 19.3 mm
Dist B 11.6 mm
Dist C 11.2 mm
Dist D 10.8 mm

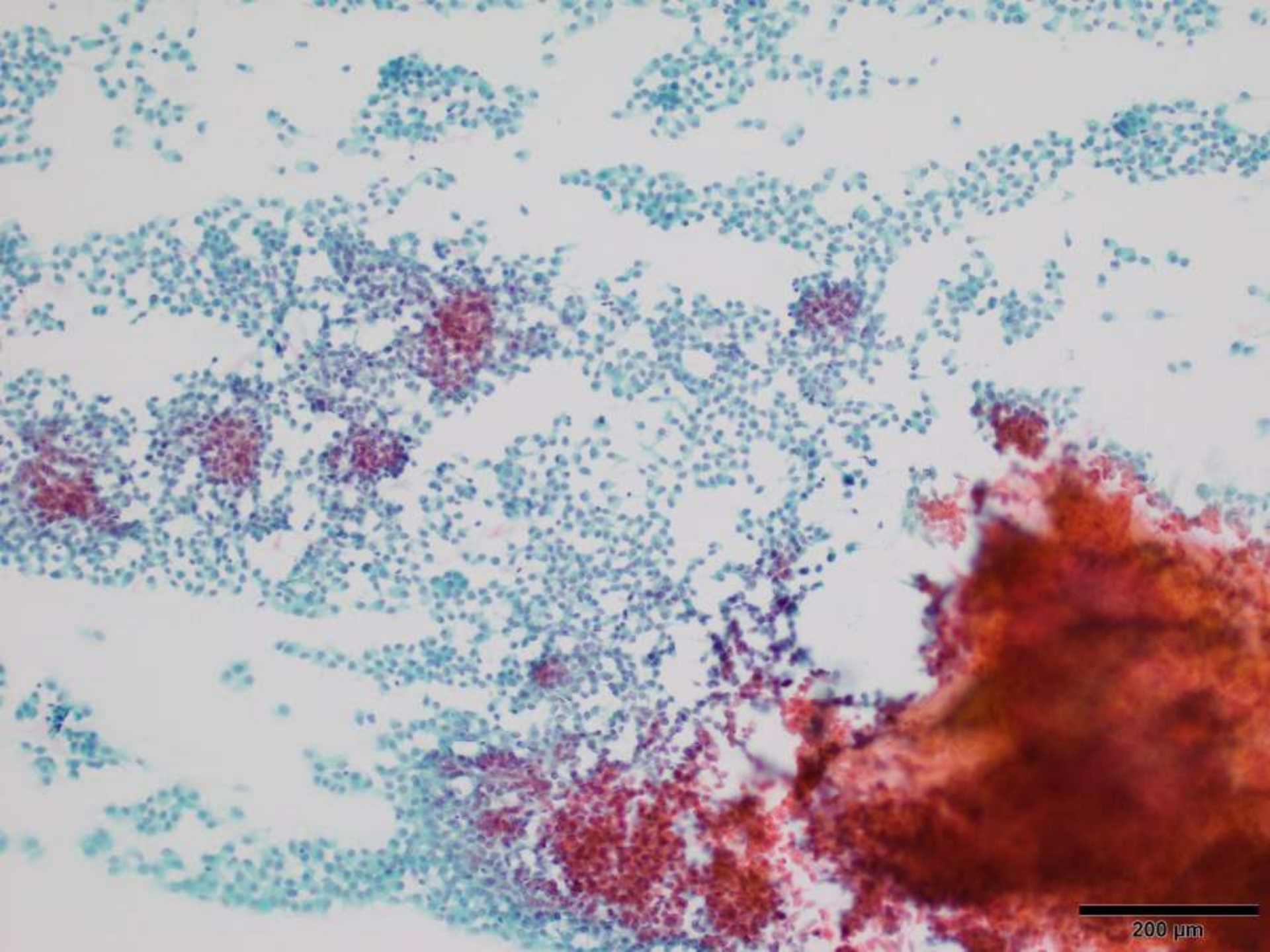

200 µm

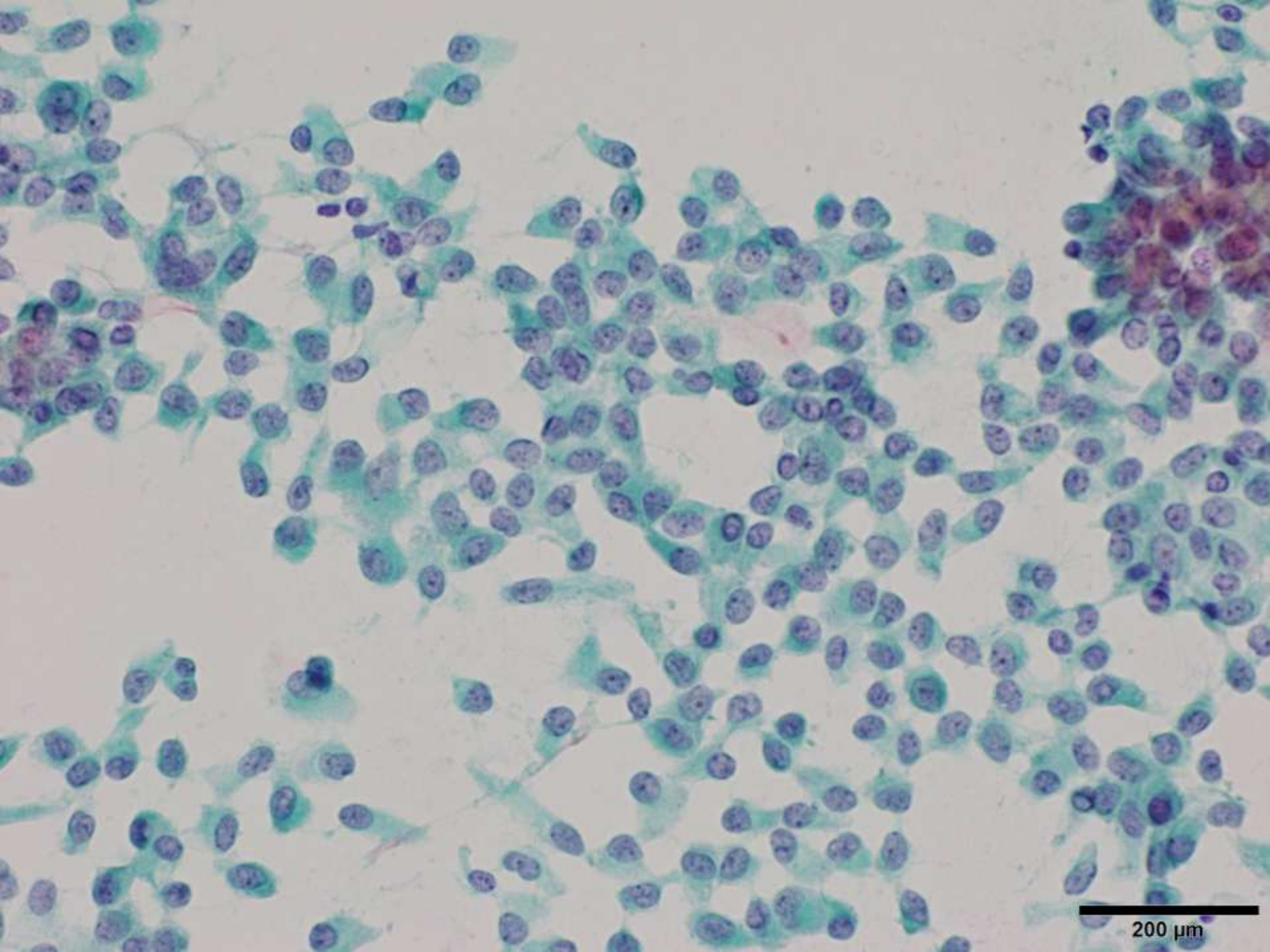

200 µm

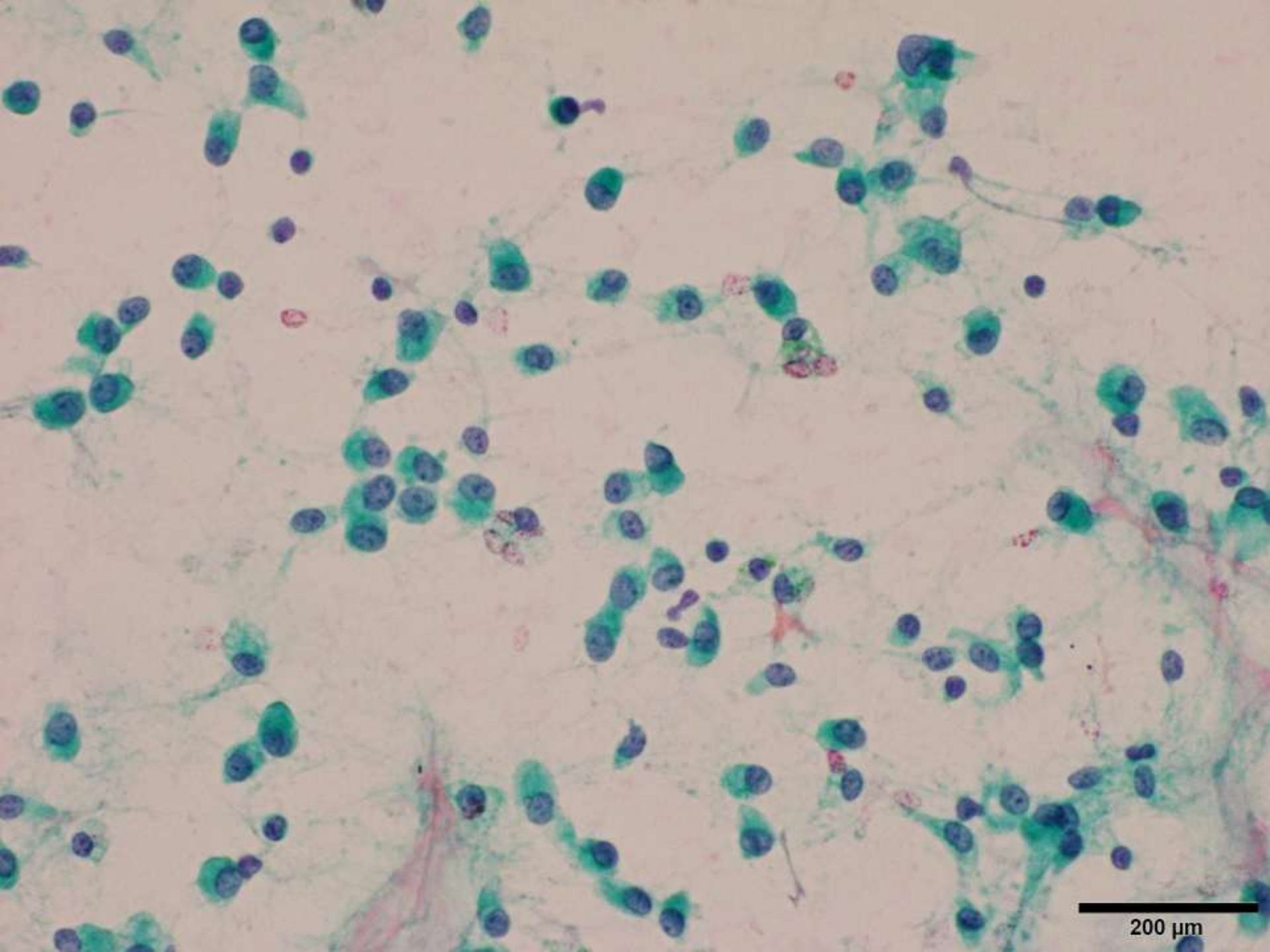

200 µm


200 µm


200 µm


200 µm


200 µm


200 µm

解答

①線維腺腫

②乳管内乳頭腫

③乳管内乳頭癌

④充実乳頭癌

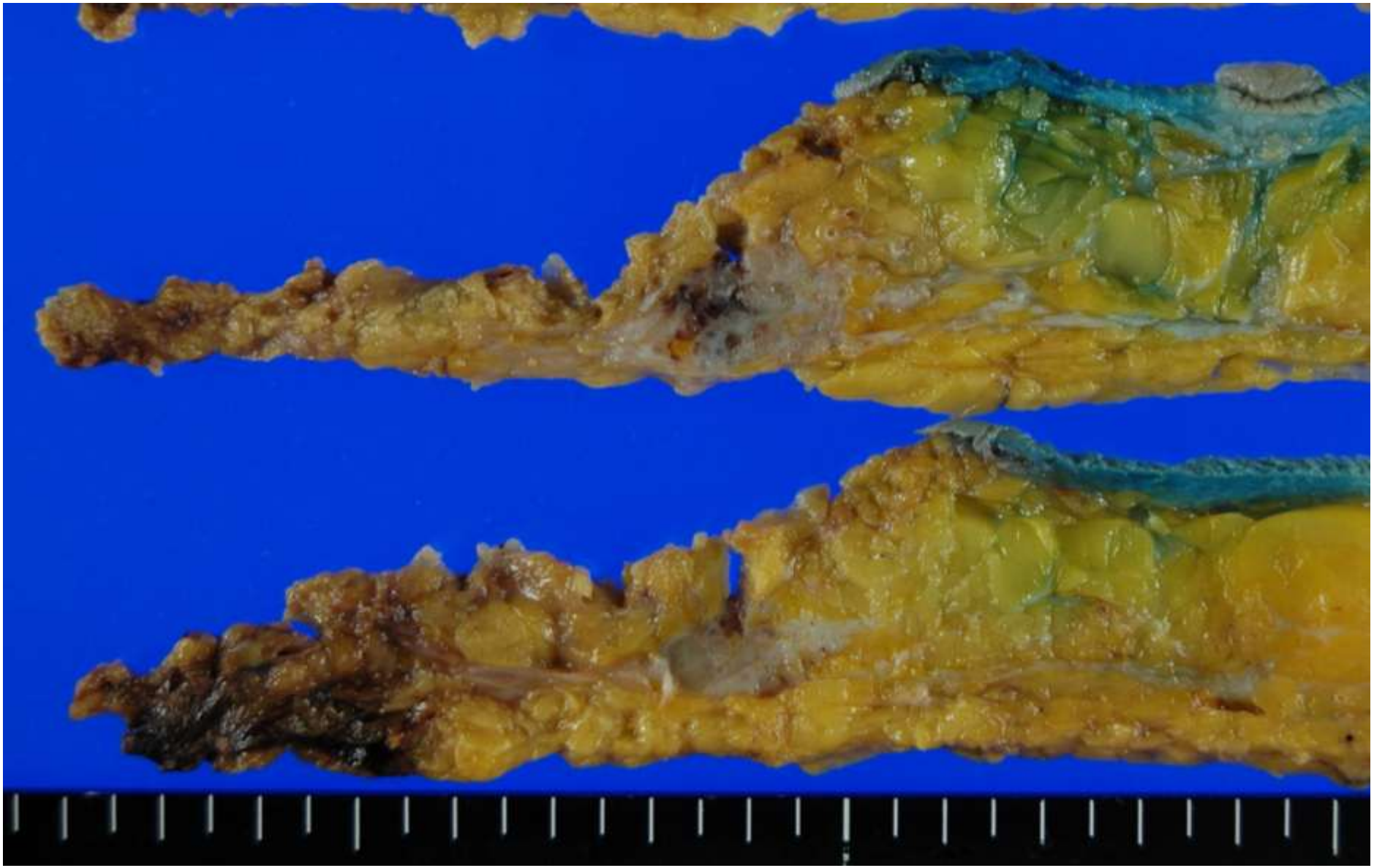
⑤乳頭腺管癌

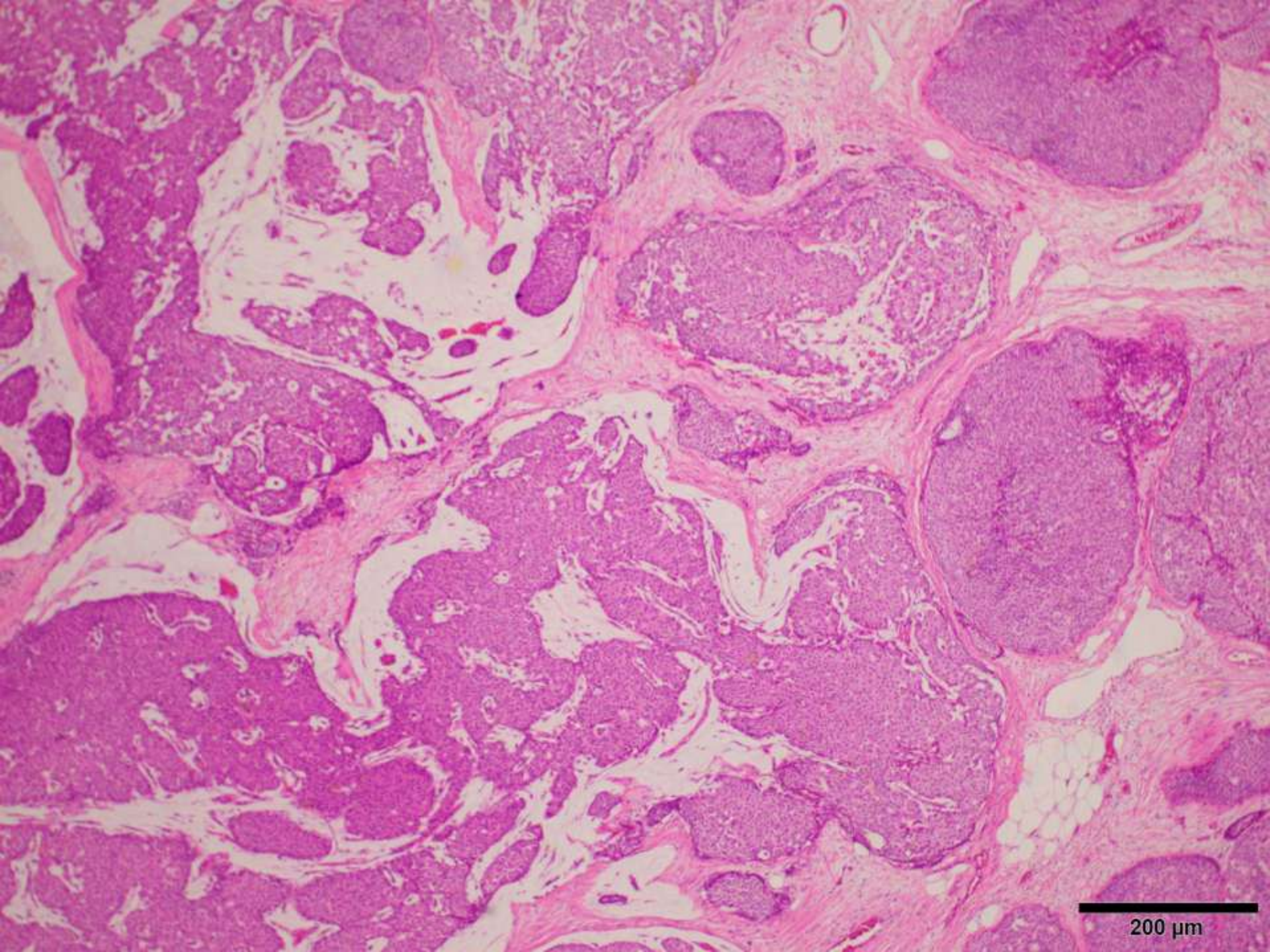
⑥充実腺管癌

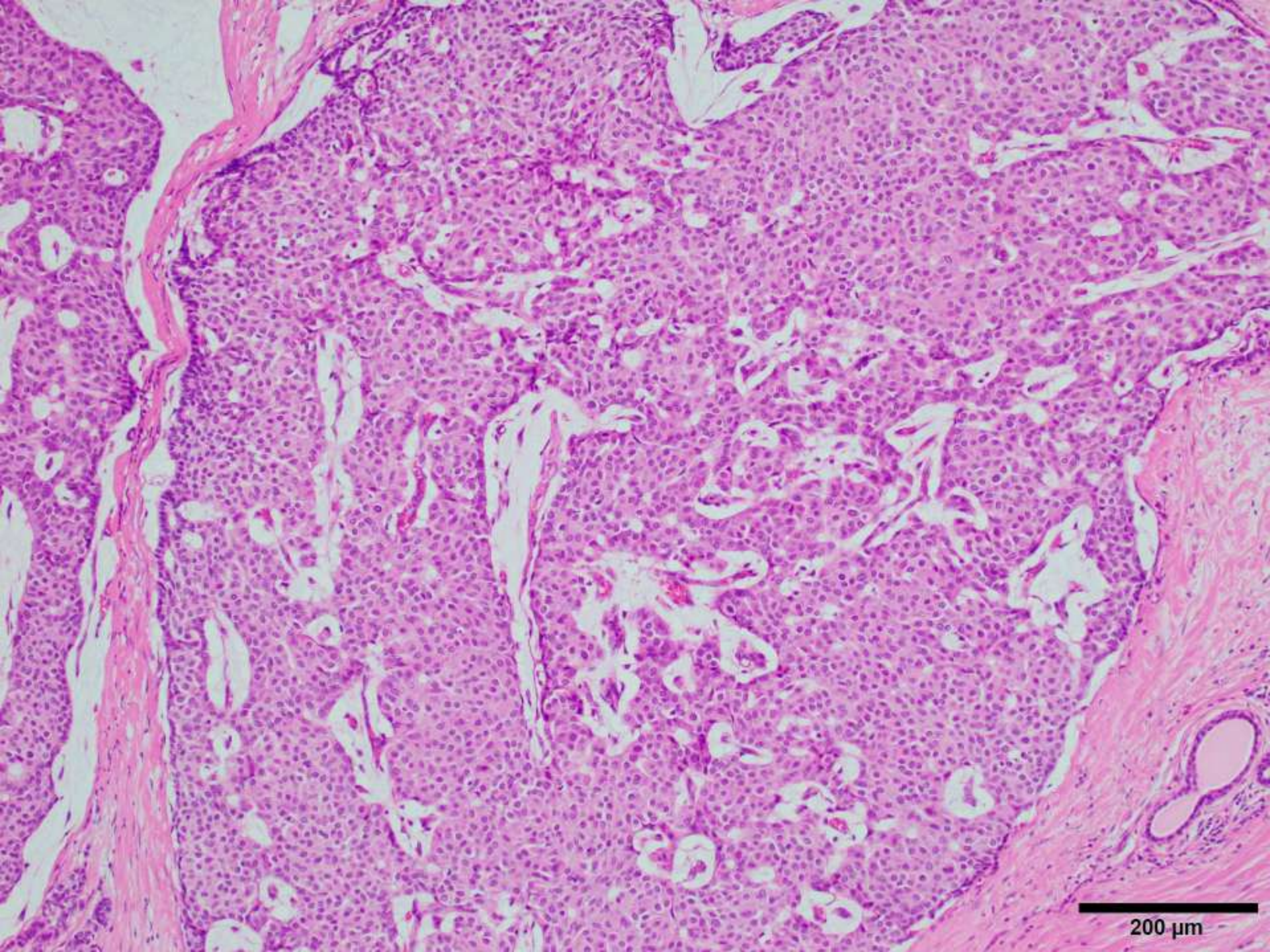
⑦小葉癌

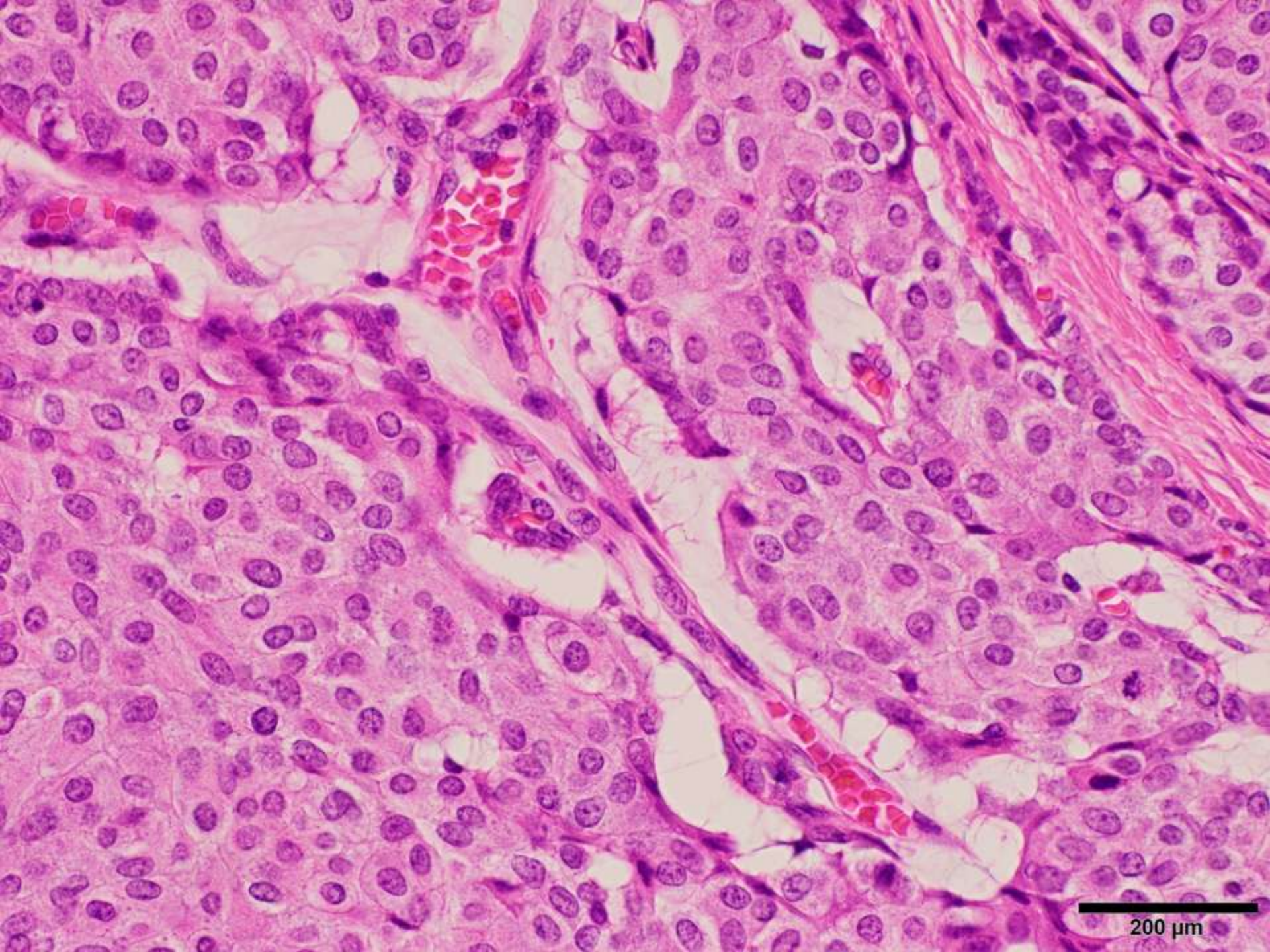
⑧粘液癌

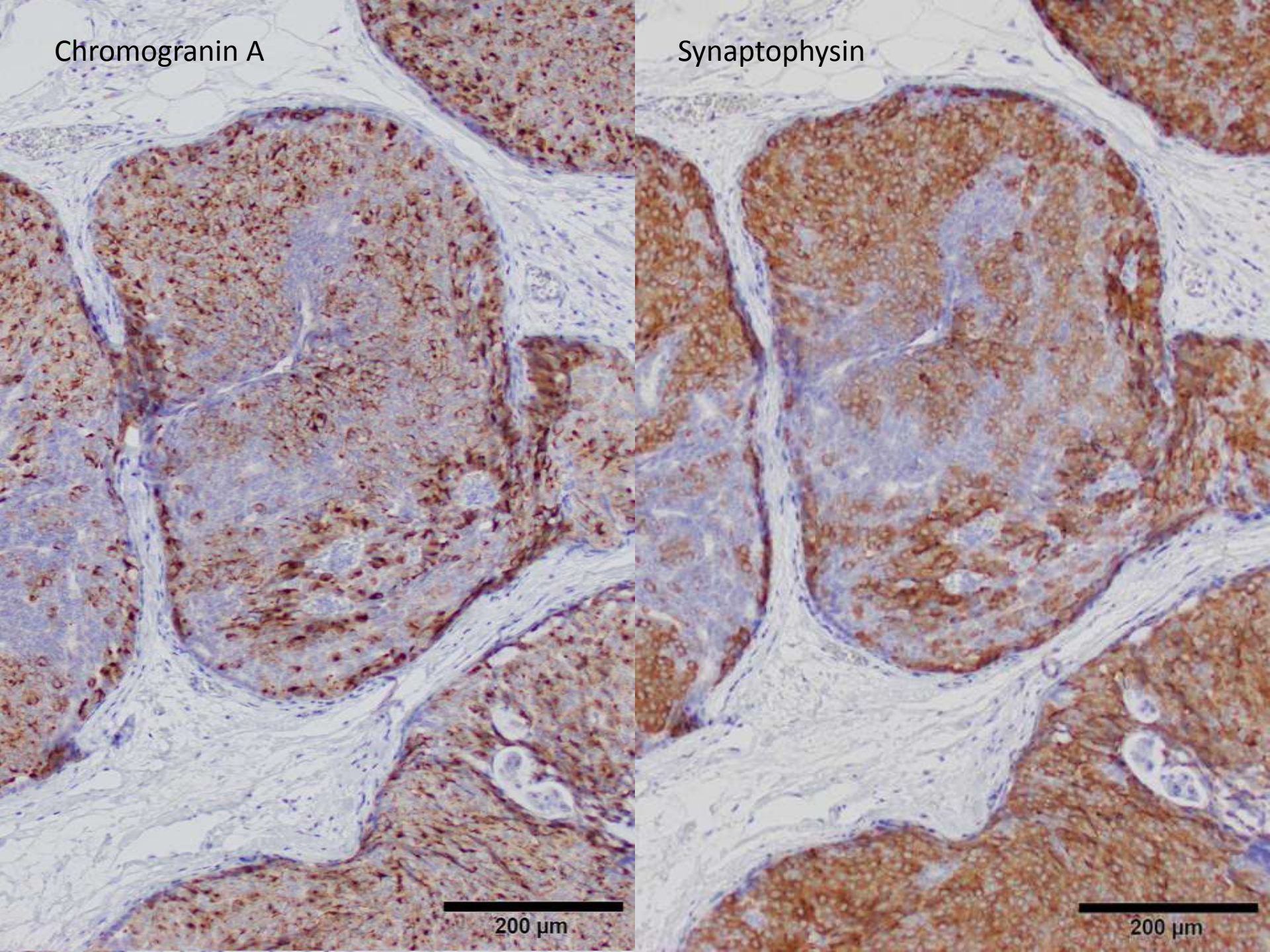
肉眼像




200 µm


200 µm


200 µm


Chromogranin A
200 µm
Synaptophysin
200 µm

組織診断

- Carcinoma of the right breast, C area, Bt, Solid papillary carcinoma, invasive (neuroendocrine carcinoma), 14x9mm, f(+), s(-), ly0, v0, ductal spread (extensive), nuclear grade:1.

- BIOLOGY: MIB-1 25%, p53<5%, HER2 1+,
  ER 99%, PgR 99%.

- 免疫染色：Chromogranin A（＋）, Synaptophysin（＋）
  CD56（−）

充実乳頭癌
（Solid papillary carcinoma：以下SPC）

- 充実性乳頭状の発育形式を示すDCISの特殊亜型で、WHO第４版では、Intraductal papillary lesions（乳頭状病変）のカテゴリーのなかに独立した分類として記載されている。
- 特徴所見として、ChromograninA、Synaptophysin などの神経内分泌マーカーにしばしば陽性を示す。
- SPCには粘液産生がみられることが多く、SPCの一部は粘液癌の前駆病変とも考えられている。
- 臨床病理学的特徴は主訴の多くが血性乳頭分泌であること、閉経後の高齢者に多く予後良好であることが挙げられている。
- 免疫組織化学的にはホルモン高感受性、HER-2陰性のLuminalAに相当する。
- 管内病変からのみなるものを SPC in situ, 浸潤を伴うものを SPC with invasion と分類する。ただし、浸潤に関する評価は議論の余地がある。

SPCの組織学的特徴

- 乳管内での乳頭状および充実性の上皮増殖
- 血管周囲の偽ロゼット状配列
- 細胞質内外の粘液形成
- 核偏在した形質細胞様形態
- 好酸性、細顆粒状の細胞質
- ChromograninA などの神経内分泌系マーカー陽性
- 壊死は少なく核異型は比較的軽度
- 浸潤を時に伴う（神経内分泌癌・粘液癌）

SPCの細胞学的特徴

- 豊富な細胞量
- 結合性の乏しい集塊および孤立散在性細胞の出現
- 線維血管性を軸とする乳頭状集塊の出現
- ロゼット様配列
- 顆粒状細胞質
- 単調な出現パターン
- 低異型度、低増殖能
- 核偏在した形質細胞様細胞の出現

鑑別疾患

- 背景の粘液

  線維腺腫、Mucocele-like tumor、粘液癌など

- 乳頭状集塊が出現

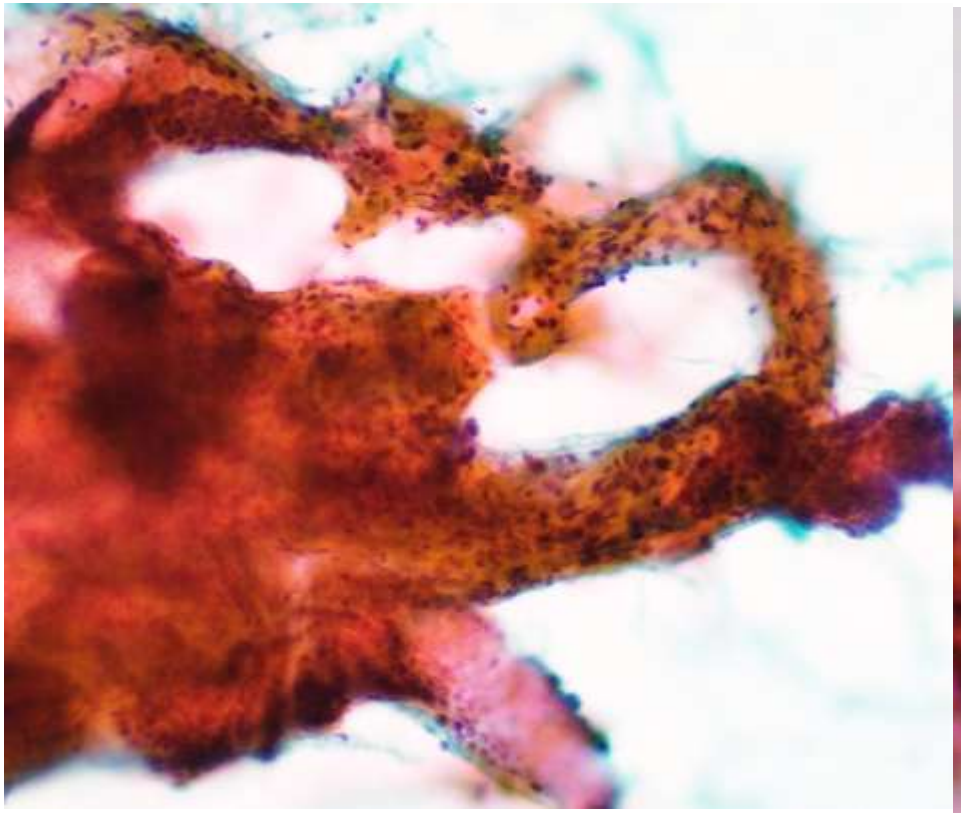
  乳管内乳頭腫、乳管内乳頭癌（DCIS）など

- 弧在性細胞が出現

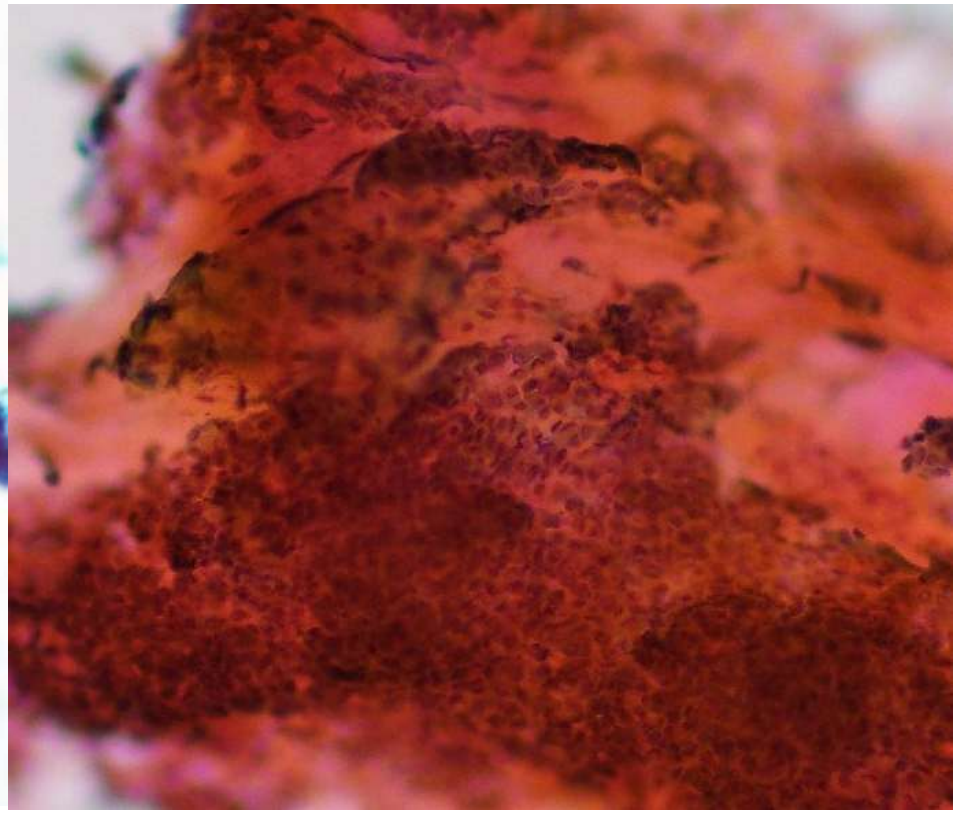
  小葉癌、充実腺管癌など

乳管内乳頭腫との鑑別

乳管内乳頭腫



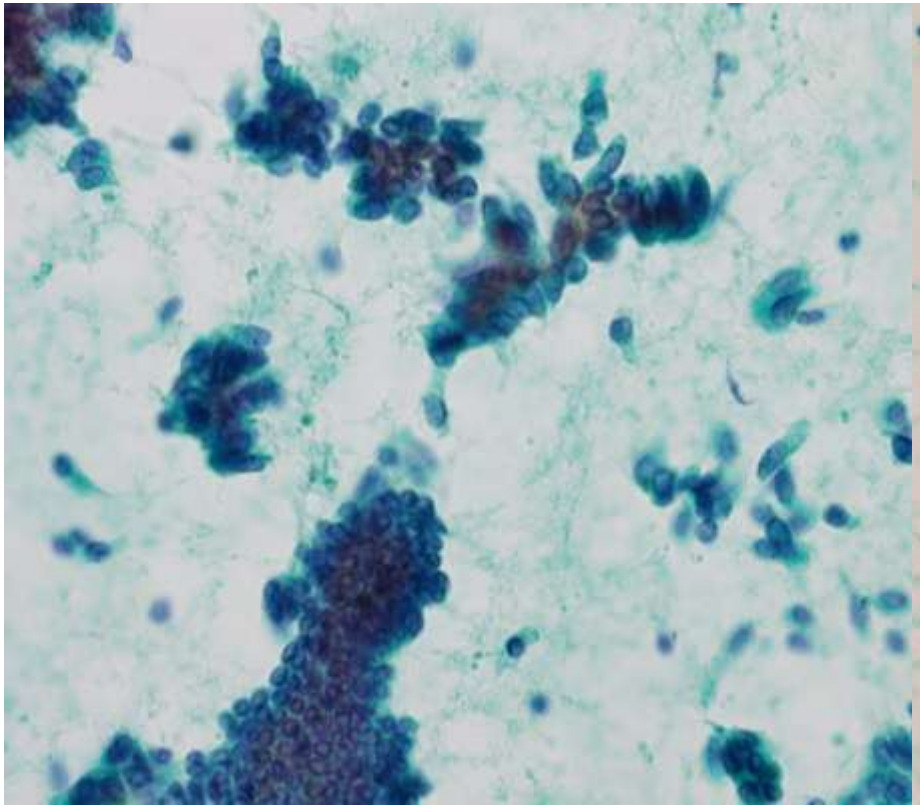
SPC



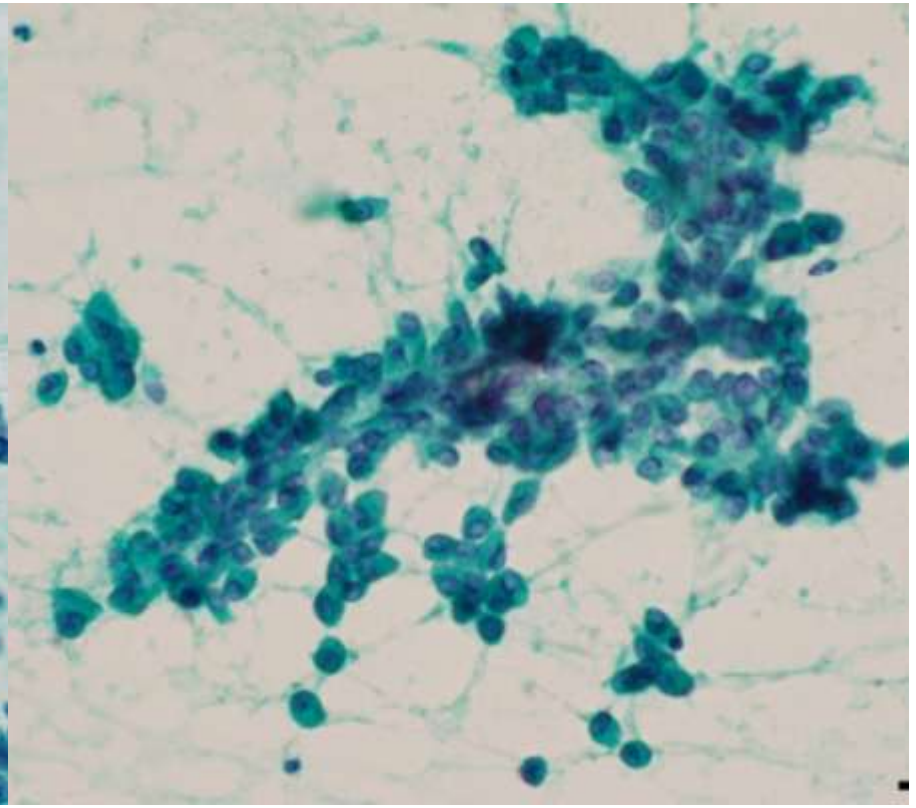
	乳管内乳頭腫	SPC
筋上皮細胞	あり	なし
核所見	クロマチン増量乏しい	細顆粒状クロマチン

乳管内乳頭癌との鑑別

乳管内乳頭癌



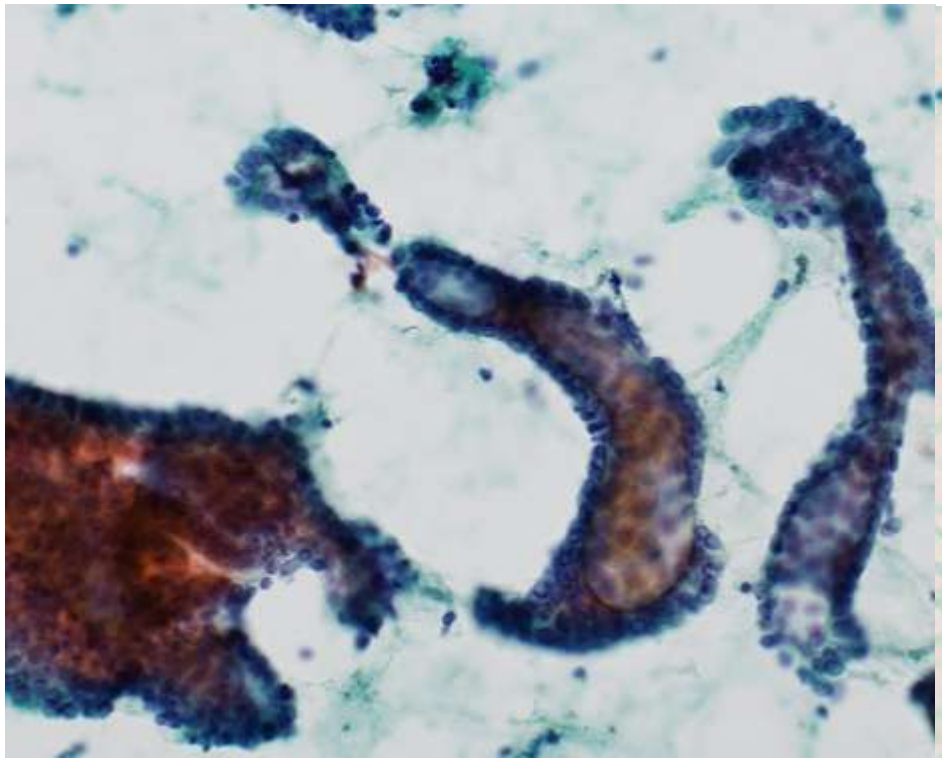
SPC



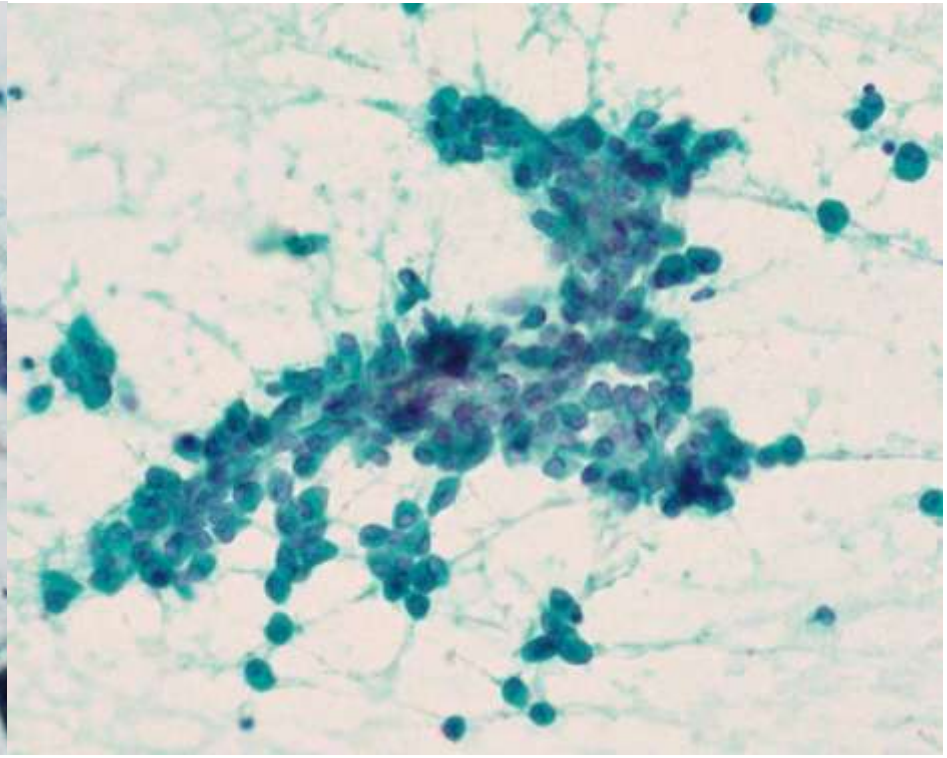
	乳管内乳頭癌	SPC
細胞配列	高円柱状･柵状配列	結合性の緩い集塊
細胞質の好酸性顆粒	なし	あり
形質細胞様細胞	なし	しばしば

乳頭腺管癌との鑑別

乳頭腺管癌



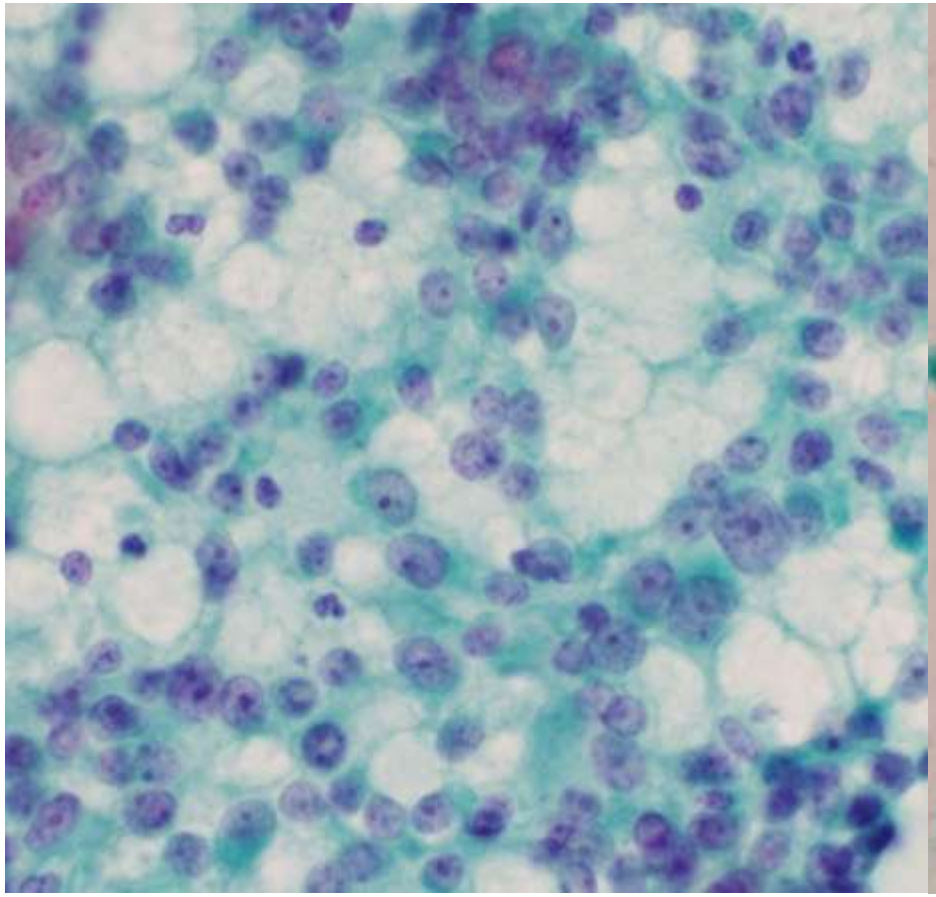
SPC



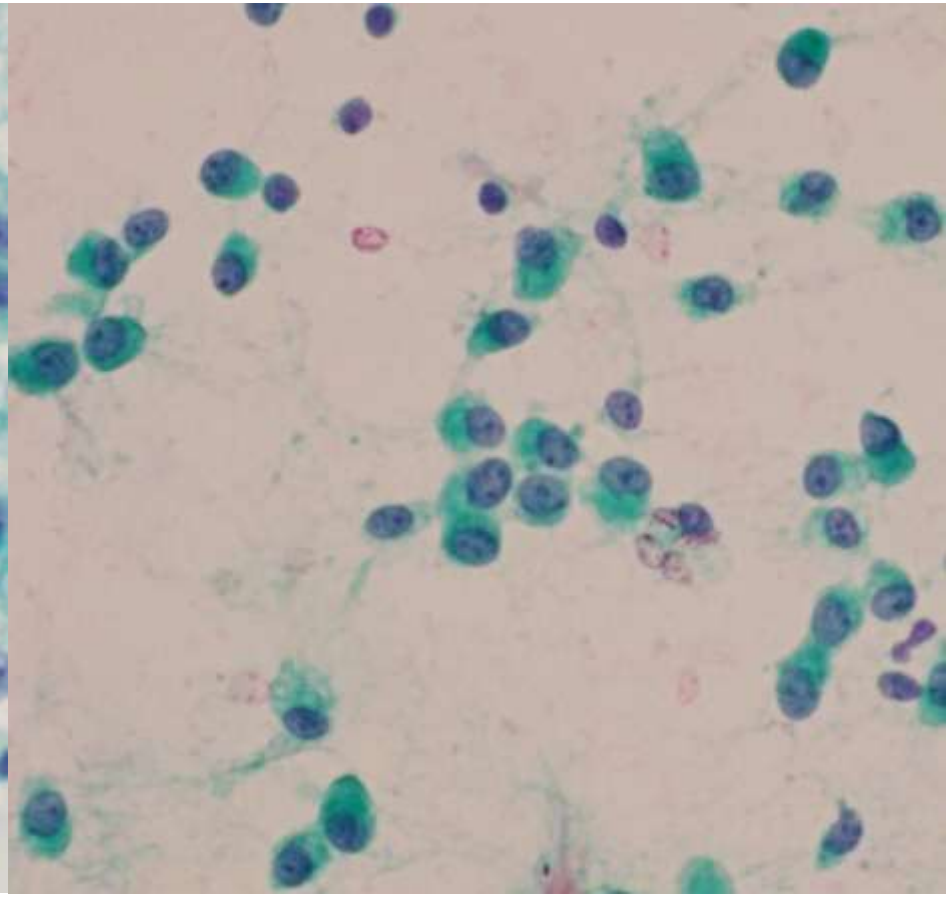
	乳頭腺管癌	SPC
腺腔様構造	あり	なし
細胞質の好酸性顆粒	なし	あり
核所見	微細顆粒状クロマチン	細顆粒状クロマチン

充実腺管癌との鑑別

充実腺管癌



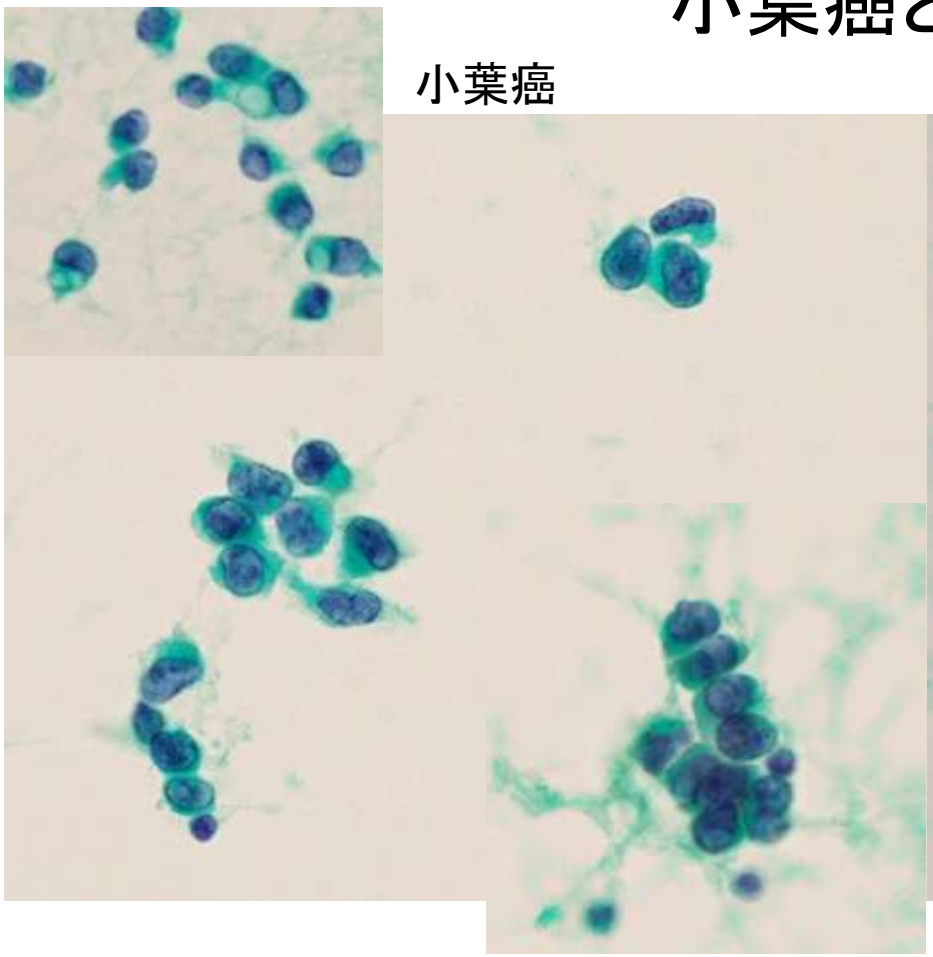
SPC



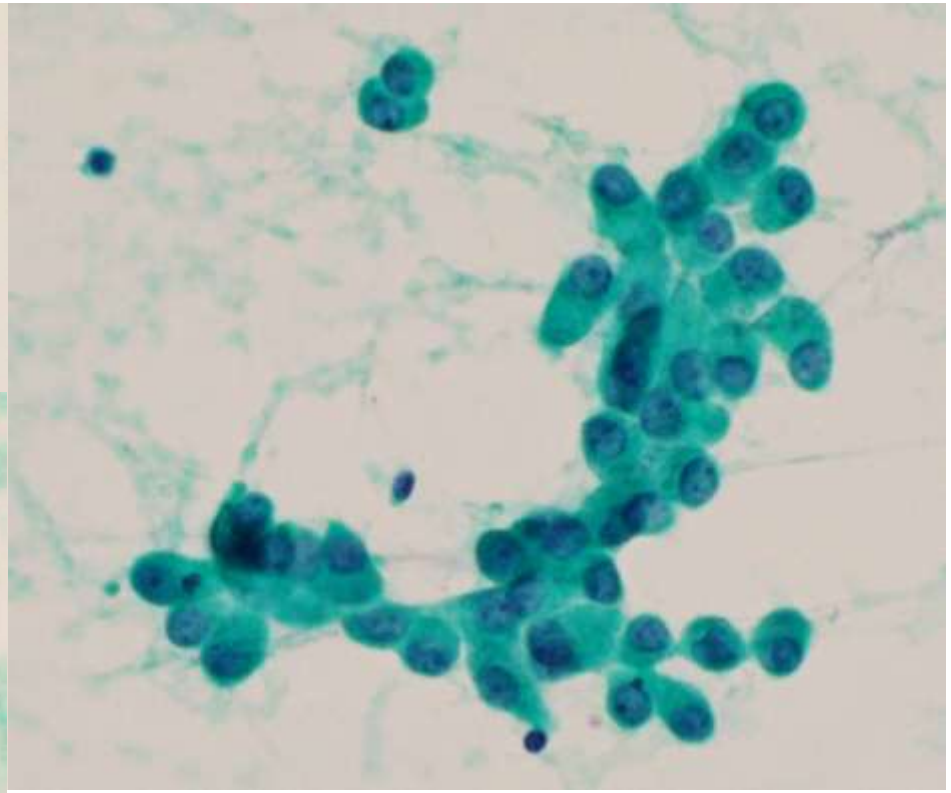
	充実腺管癌	SPC
核異型	強い	軽度で均一
形質細胞様細胞	なし	あり

小葉癌との鑑別

小葉癌



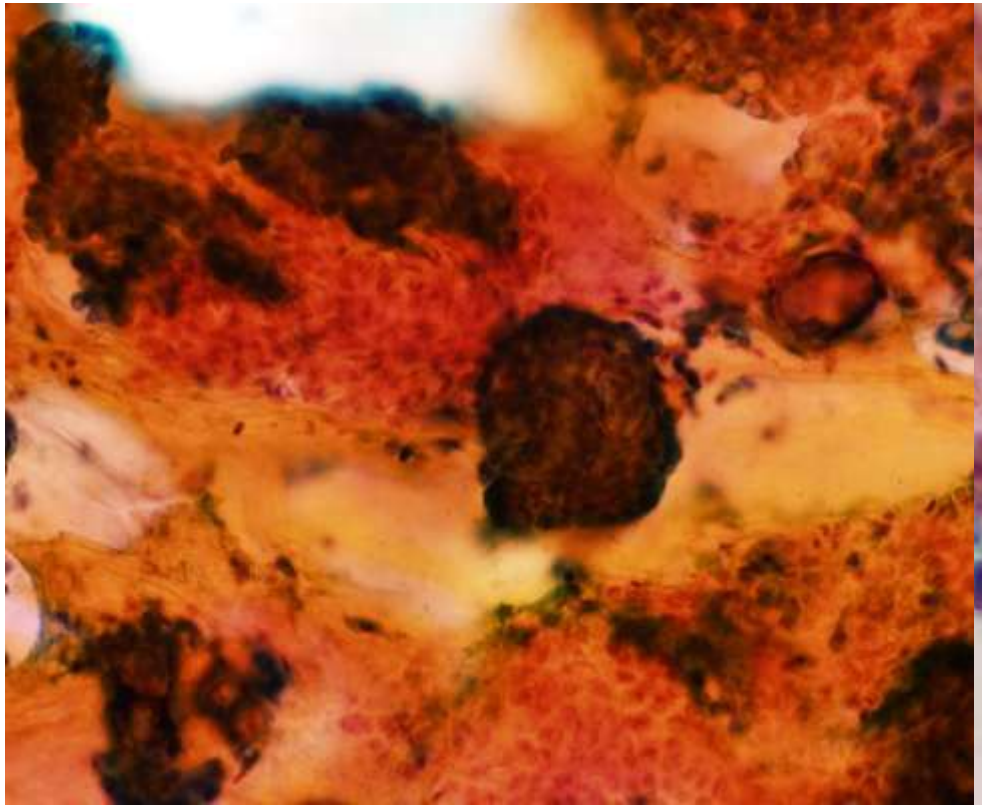
SPC



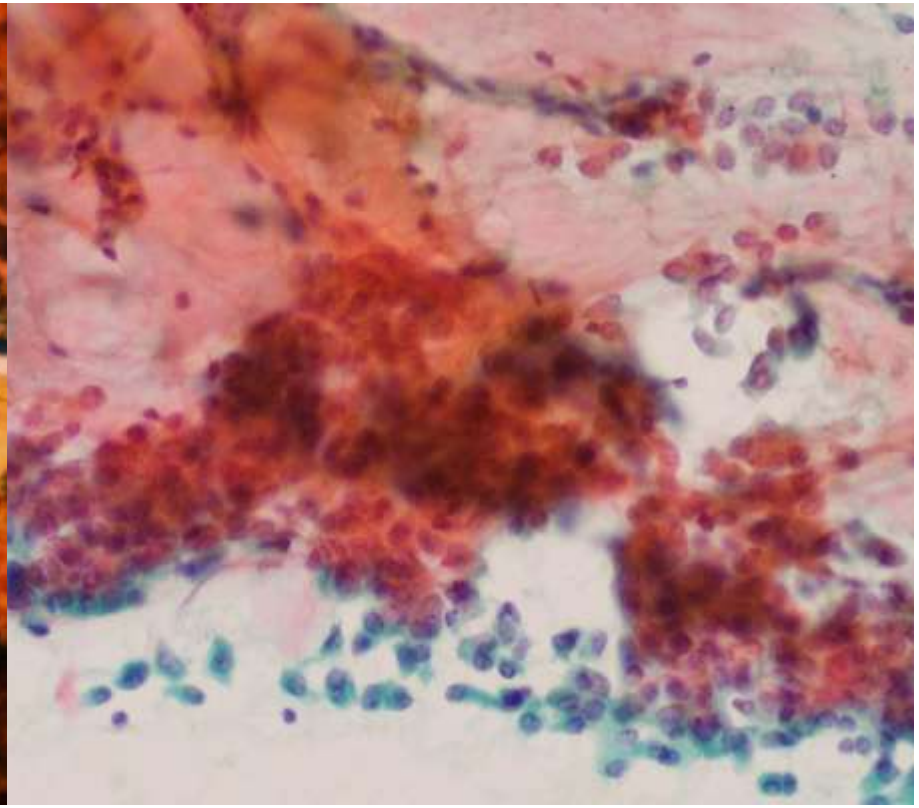
	小葉癌	SPC
細胞配列	線状配列	結合性の緩い集塊
細胞質内小腺腔	あり	まれ
核異型	高度	軽度で均一

粘液癌との鑑別

粘液癌



SPC



	粘液癌	SPC
粘液	多い、粘稠性が強い	少ないがしばしば
結合性	強い傾向	緩い傾向
核異型	強い傾向	軽度で均一

まとめ

- SPCは多彩な形態で出現するが、神経内分泌腫瘍に特徴的なクロマチン形態と、形質細胞様の形態を捉えやすく、本腫瘍の診断に細胞診は有用である。

- 異型が弱く単調な出現パターンの場合は、比較的推定可能だが、特に粘液が多く、細胞異型が強い場合に粘液癌との鑑別が困難となる。